

長崎大学大学院工学研究科
博士後期課程 学生募集要項
生産システム工学専攻

令和3年10月入学・進学

一般入試・社会人入試・外国人留学生入試・進学者選考
(夏期募集)

令和4年4月入学・進学

一般入試・社会人入試・外国人留学生入試・進学者選考
(夏期募集・冬期募集)

令和3年3月

長崎大学大学院工学研究科

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

TEL (095) 819-2491 (直通)

FAX (095) 819-2587

目 次

| | |
|-----------------------------------|----|
| アドミッション・ポリシー | 1 |
| 令和3年10月入学・進学（夏期募集） | |
| ・一般入試・社会人入試・外国人留学生入試 | 3 |
| ・進学者選考 | 10 |
| 令和4年4月入学・進学（夏期募集・冬期募集） | |
| ・一般入試・社会人入試・外国人留学生入試 | 14 |
| ・進学者選考 | 20 |
| ディプロマ・ポリシー | 24 |
| カリキュラム・ポリシー | 24 |
| 教員・研究内容一覧 | 26 |
| 長崎大学大学院工学研究科における入試成績の開示について | 29 |

長崎大学大学院工学研究科博士後期課程生産システム工学専攻
アドミッション・ポリシー

1. 工学研究科の教育理念・目標

(教育理念)

自然と共生し、人類社会の持続的発展に貢献する高度な工学教育研究拠点として、工学の幅広い分野における専門的・学際的知識及び高度専門技術を修得し国際的に活躍できる高度専門技術者・研究者を養成するとともに、先導的・独創的研究の遂行により次世代の革新的科学技術の推進に貢献する。

(目標)

工学の幅広い分野における専門的・学際的知識及び高度専門技術を修得させ、課題探求・問題解決能力及び国際的・先導的な研究開発能力を修得させる。

2. 博士後期課程生産システム工学専攻の教育理念・目標

工学研究科博士後期課程生産システム工学専攻は、地球にやさしく人間に快適な社会を実現するために、高度に専門化した機械システム、社会基盤システム、電気情報システムの創出や新規物質創製及び新機能創成に加え、アジア・アフリカ諸国の発展にも貢献できる技術も含めた、次世代の革新的科学技術の推進に貢献する人材を育成することを教育目標としている。

3. 博士後期課程生産システム工学専攻のアドミッション・ポリシー

生産システム工学専攻は、入学者に以下の学力・能力、資質・素養を求めます。

- ・システム工学（機械システム、社会基盤システム）、電気情報工学、物質工学、国際水環境科学の各専門分野のいずれかにおいて高い基礎学力と専門実践能力（修士相当）がある。
- ・次世代の革新的科学技術の推進に貢献する強い意志がある。
- ・より高度な専門的知識や技能の獲得ならびにそれらを応用した独創的な研究に取り組む意欲がある。
- ・技術者、研究者としての高い倫理観と安全への意識がある。
- ・産業界や社会の要請に寄与することへの熱意がある。
- ・工学の幅広い分野における知識、課題探求能力、問題解決能力がある。
- ・国際的な場で活躍できるコミュニケーション能力がある。
- ・地球と自然環境に配慮した循環型社会に貢献する強い意志がある。

選抜方法に関する別表（求める素質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎，大きい比重○））

| 求める資質等 | | 高い基礎学力と専門実践能力(修士相当) | 次世代の革新的科学技術の推進に貢献する強い意志 | より高度な専門的知識や技能の獲得ならびにそれらを応用した独創的な研究に取り組む意欲 | 技術者、研究者としての高い倫理観と安全への意識 | 産業界や社会の要請に寄与することへの熱意 | 工学の幅広い分野における知識、課題探求能力、問題解決能力 | 国際的な場で活躍できるコミュニケーション能力 | 地球と自然環境に配慮した循環型社会に貢献する強い意志 |
|-------------------|-----------------------------|---------------------|-------------------------|---|-------------------------|----------------------|------------------------------|------------------------|----------------------------|
| 入試区分 | | | | | | | | | |
| 一般入試 | 筆記試験 または 面接及び口述 試験 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 社会人入試 外国人留学生入試 | 面接及び口述 試験 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 進学者選考 | 筆記試験 または 面接及び口述 試験 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

令和3年10月入学
(夏期募集)

一 般 入 試
社 会 人 入 試
外 国 人 留 学 生 入 試

1. 募集人員

| 専攻 | 入試区分 | コース | 募集人員 |
|------------|----------|------------|------|
| 生産システム工学専攻 | 一般入試 | システム工学コース | 4人 |
| | 社会人入試 | 電気情報工学コース | |
| | 外国人留学生入試 | 物質工学コース | |
| | 外国人留学生入試 | 国際水環境科学コース | |

(注) 上記募集人員には、進学者選考の募集人員を含む。

(注) 令和3年4月入学の冬期募集における合格者数が募集人員に満たなかった場合は、その満たなかった人員を夏期募集に加えて選抜する。

各コースの受入れの目安は次のとおりである。

- | | | |
|-------------|---|------|
| ○システム工学コース | } | 2人程度 |
| ○電気情報工学コース | | |
| ○物質工学コース | | |
| ○国際水環境科学コース | | 2人程度 |

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者。

なお、社会人入試については、出願時において企業等に正規職員として勤務し、所属長の許可を受けた者で、次の各号のいずれかに該当するもの。

また、外国人留学生入試については、日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）で、次の各号のいずれかに該当するもの。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和3年9月までに取得見込の者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年9月までに授与される見込の者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年9月までに授与される見込の者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和3年9月までに授与される見込の者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和3年9月までに授与される見込の者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者又は令和3年9月までに合格が見込まれる者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
(「3. 出願資格審査」参照)
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの（「3. 出願資格審査」参照）
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの（「3. 出願資格審査」参照）
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの又は令和3年9月30日までに24

歳に達するもの（「3. 出願資格審査」参照）

3. 出願資格審査

- (1) 出願資格(6)、(7)又は(8)で出願する者については、事前に出願資格を審査する必要があるため、以下の書類を令和3年4月16日(金)までに、長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係(工学研究科)へ提出すること。

| 提出書類 | 備考 |
|--------------------------------------|---|
| 入学試験出願資格認定申請書〔様式5〕 | 本研究科所定の様式 |
| 入学願書〔様式1〕 | 本研究科所定の様式 |
| 卒業証明書 | 最終学校の出身学校長が作成したもの |
| 成績証明書 | 最終学校の出身学校長が作成し、厳封したもの |
| 研究業績調書〔様式6〕 | 本研究科所定の様式に、学位論文、研究発表、研究報告、学会発表等を記入すること。(業績を有する者のみ) |
| 研究(業務)経過報告書〔様式7〕 | 本研究科所定の様式に、「研究業績調書〔様式6〕」に記載した業績について詳述し、 <u>その根拠となる資料(論文の別刷等)を提出すること。</u> |
| 合格(見込み)証明書 (出願資格(6)該当者のみ) | 博士論文研究基礎力審査に相当する審査に合格又は合格が見込まれる者で、出願資格(6)により出願する者は、最終の出身大学等の学長、学部長(大学以外は出身学校長)が作成した合格(見込み)証明書を提出すること。 |
| 出願資格審査結果返送用封筒 〔長形3号(12cm×23.5cm)〕 | 郵便番号、住所、氏名を明記し、374円分の切手(速達)を貼付したもの |

(※)本研究科所定の様式は、長崎大学大学院工学研究科ホームページからダウンロードすること。
「工学研究科ホームページ」→「入試情報」→「大学院入試」→「募集要項」
(URL：http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/contents/01_02_g_ar.html)

- (2) 原則として、提出された書類により出願資格審査を行う。
出願資格審査の結果については、令和3年5月13日(木)に本人宛に発送する。なお、出願資格有と認定された者は、「4. 出願期間」及び「5. 出願手続」により手続きを行うこと。

4. 出願期間

令和3年6月7日(月)から令和3年6月11日(金)まで

- (1) 郵送する場合は必ず書留速達とし、所定の期日までに必着のこと。

郵送先 〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係(工学研究科)

- (2) 出願書類等を持参する場合は、9:00から17:00まで受け付ける。

5. 出願手続

志願者は、以下の手続書類等を、所定の期日までに長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係(工学研究科)へ提出すること。

※ 本研究科所定の様式は、長崎大学大学院工学研究科ホームページからダウンロードすること。
「工学研究科ホームページ」→「入試情報」→「大学院入試」→「募集要項」
(アドレス：http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/contents/01_02_g_ar.html)

※ 検定料の「振込書」及び「住所シール」は、長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係(工学研究科)にて受け取ること。窓口に来ることができない場合は、「15. その他」により郵送で請求すること。

| 手続書類等 | 備考 |
|-------------------------------|--|
| 入学願書〔様式 1〕 | <p>本研究科所定の様式</p> <p>※ 予め主たる指導を希望する教員（「教員・研究内容一覧」参照）と面談を行ったうえ、入学願書に指導予定教員名を記入すること。</p> <p>ただし、出願資格審査時に提出した者は不要</p> |
| 写真票・受験票・検定料納付証明書貼付票〔様式 2〕 | <p>本研究科所定の写真票及び受験票に、出願前 3 ヶ月以内に撮影した写真（正面・上半身無帽 縦 4 cm×横 3 cm）を貼付すること。</p> |
| 卒業証明書 又は修了（見込）証明書（最終学歴のもの） | <p>出身大学（学部又は研究科）長が作成したもの</p> <p>ただし、出願資格審査時に提出した者は不要</p> |
| 成績証明書（最終学歴のもの） | <p>出身大学（学部又は研究科）長が作成し、厳封したもの</p> <p>ただし、出願資格審査時に提出した者は不要</p> |
| 研究業績調書〔様式 6〕 | <p>本研究科所定の様式に、学位論文、研究発表、研究報告、学会発表等を記入すること。（業績を有する者のみ）</p> <p>ただし、出願資格審査時に提出した者は不要</p> |
| 研究（業務）経過報告書〔様式 7〕 | <p>本研究科所定の様式に、「研究業績調書〔様式 6〕」に記載した業績について詳述し、<u>その根拠となる資料（論文の別刷等）を提出すること。</u></p> <p>ただし、出願資格審査時に提出した者は不要</p> |
| 学位論文要旨〔様式 8〕 | <p>本研究科所定の様式に、修士論文要旨を 2,000 字以内で記述すること。</p> <p>ただし、修士の学位を有しない者は不要</p> |
| 研究計画の概要〔様式 9〕 | <p>本研究科所定の様式に、研究（希望）計画の概要を記入すること。</p> |
| 受験・就学承諾書〔様式 10〕 | <p>出願時において、官公庁、民間企業に在職中の者は、本研究科所定の様式にて機関の長の承諾書を提出すること。</p> |
| 住所シール | <p>志願者の郵便番号、住所、氏名を明記すること。なお、出願後に変更があった場合は、直ちに長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）へ届け出ること。</p> |
| 受験票返送用封筒〔長形 3 号（12cm×23.5cm）〕 | <p>志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、374 円分の切手（速達）を貼付すること。</p> |
| 在留資格を証明するもの（写）（外国人志願者のみ） | <p>在留カード又は旅券（入国査証（VISA）の確認ができる部分）の写しを提出すること。</p> |
| 検定料（30,000 円） | <p>《 振込期間 》 令和 3 年 6 月 7 日（月）から令和 3 年 6 月 11 日（金）まで</p> <p>《 振込場所 》 各種銀行の受付窓口（ATMは使用不可。必ず受付窓口で払い込むこと。）</p> <p>《 振込方法 》 振込時に別途必要な振込手数料は、入学志願者本人の負担となる。 「振込書」の※欄に、入学志願者の住所・氏名（フリガナ）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入すること。 「検定料納付証明書」を受付窓口から受け取る際には、必ず取扱銀行収納印を確認すること。</p> <p>《 出願に際しての留意事項 》 検定料が振り込まれていない場合、振込済の「検定料納付証明書」を検定料納付証明書貼付票の所定の欄に貼り付けていない場合、及び「検定料納付証明書」に取扱銀行収納印が押印されていない場合は出願を受理しない。 検定料を最終日に振り込む場合は、その後、当日 17:00 までに出願書類一式を提出しなければならないので注意すること。（銀行の営業日、時間等を十分考慮して手続きを行うこと。）</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。</p> <p>検定料を振り込んだが長崎大学に出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には、振り込んだ者の申し出により、当該検定料相当額は返還する。</p> <p>返還にかかる手数料は、原則、入学志願者本人の負担とする。</p> <p>なお、返還の申し出は、出願期間の最終日から14日以内とする。</p> <p>〔返還に関する問い合わせ先〕</p> <p>長崎大学管理運営部経理調達課資金管理班（TEL 095-819-2060）</p> <p>※ 日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要である。</p> <p>※ 令和2年7月豪雨、令和元年台風第19号、北海道胆振東部地震、平成30年7月豪雨、熊本地震又は東日本大震災で被災された志願者には検定料免除の特別措置を行うので、長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）（095-819-2491）へ連絡すること。なお、詳細については、本学ホームページにも掲載している。</p> <p>（http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/support/index.html）</p> |
|--|---|

6. 出願に関する注意事項

- (1) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めない。
- (2) 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しない。

7. 選抜方法

入試区分に応じ、次の試験科目を課す。一般入試については、受験者ごとに「①筆記試験」又は「②面接及び口述試験」のどちらか一方を実施する。なお、筆記試験の場合は2科目とも受験しなければ失格とする。

- (1) 試験日時（次の期間のうち研究科が指定する日時）
令和3年6月28日（月）から令和3年6月30日（水）まで

- (2) 試験場
長崎大学大学院工学研究科 〒852-8521 長崎市文教町1番14号

- (3) 試験科目・配点

| 入試区分 | 試験科目 | | 配点 | 配点合計 |
|----------|-----------------------|------|-----|------|
| 一般入試 | ①筆記試験 | 英語 | 100 | 200 |
| | | 専門科目 | 100 | |
| | ②面接及び口述試験〔出願書類の審査を含む〕 | 200 | 200 | |
| 社会人入試 | 面接及び口述試験〔出願書類の審査を含む〕 | | 200 | 200 |
| 外国人留学生入試 | 面接及び口述試験〔出願書類の審査を含む〕 | | 200 | 200 |

- ※ 一般入試については、本研究科にて実施する試験を決定し、受験票発送時に文書で志願者へ通知する。
- ※ 筆記試験は、志望する研究分野に関連する内容について行う。
- ※ 面接及び口述試験は、複数の面接員による個人面接形式で行う。

(4) 合否判定基準

総得点が配点合計の60%以上の得点者を合格者の対象とする。

なお、面接及び口述試験は次の評価内容で評価する。

(評価内容)

出願書類を参考にして試問を行い、志望動機、修士修了レベルの基礎知識・学力及び研究計画等を総合的に評価する。

(5) インターネットを利用した入試

外国人留学生入試については、インターネットを利用した面接及び口述試験を実施する場合がある。希望する場合は、出願期間開始日の一ヶ月前までに指導予定教員へ履歴書と希望する研究内容を提出の上連絡し、十分に打合せを行うこと。

8. 受験上の注意事項

- (1) 受験者は、本研究科から交付した受験票を試験当日必ず携帯すること。
- (2) 試験開始20分前までに、研究科が指定する試験室に入室すること。
- (3) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切っておくこと。

9. 合格者発表

令和3年7月14日(水) 10:00

※ 工学研究科掲示板に発表するとともに、同日、合格者に対し合格通知書を発送する。

※ 同日10:00以降、長崎大学大学院工学研究科ホームページに合格者を掲載する。

「工学研究科ホームページ」→「入試情報」→「大学院入試」→「合格発表」

(アドレス：http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/contents/01_02_g_pass.html)

※ 電話による合否の問い合わせには一切応じない。

10. 入学手続等

合格した者は、次により入学手続を行うこと。詳細については、合格通知書に同封する。

(1) 手続期間

令和3年9月1日(水)～令和3年9月3日(金) [受付時間 9:00～17:00]

(2) 納付金の納入

・入学料・・・・・・282,000円

(注) 既納の入学料は返還しない。

[参考]

① 令和3年度授業料(年額)：535,800円(前期分267,900円、後期分267,900円)

② 授業料の納入時期は、前期分4月、後期分10月になる。

③ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

④ 入学料及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。(詳細は、入学手続関係書類に同封する。)

⑤ 合格者のうち、日本政府(文部科学省)国費外国人留学生は、入学料及び授業料は不要である。

11. 個人情報の取扱

- (1) 出願書類により取得された個人情報は、入学者選抜業務のために利用する。また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は、学籍登録業務のために利用する。
- (2) 入学試験の成績及びその他の個人情報は、1年次における奨学生への推薦資料並びに入学料免除及び授業料免除等の選考資料として利用することがある。

- (3) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。
- (4) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、以上の目的以外で利用すること又は第三者に提供することはない。

12. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和3年6月4日（金）までに、下記の内容を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書を添え、長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）と相談すること。なお、入学者選抜において事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。また、必要な場合は、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る出身大学関係者等との面談等を行うこともある。また、事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

○ 申請書の記載内容

- (1) 入試の区分、志望コース
- (2) 障がいの種類・程度
- (3) 受験上の配慮を希望する事項
- (4) 修学上の配慮を希望する事項
- (5) 出身大学等でとられていた配慮
- (6) 日常生活の状態
- (7) 志願者の住所・氏名・連絡先電話番号（FAX番号）

☆本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っている。

13. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っている。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合があるので留意すること。

なお、詳細については各専攻まで問い合わせること。

14. 新型コロナウイルスに関する対応について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、試験日を延期する場合や選抜方法等を変更（面接をWebにより実施するなど）する場合及び追試験を実施する場合があるので、これらのことに留意したうえで出願すること。

なお、試験日の延期等については、長崎大学大学院工学研究科ホームページ等で周知する。

「工学研究科ホームページ」→「入試情報」→「大学院入試」

（アドレス http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/contents/01_02_g_nyushi.html）

15. その他

出願書類のうち検定料の「振込書」及び「住所シール」を郵送により請求する場合は、郵便番号、住所及び氏名を明記し、120円分の切手を貼った返送用封筒（角形2号 24cm×33cm）を同封のうえ、請求封筒の表に「工学研究科博士後期課程出願書類請求」と朱書きし、長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）あてに請求すること。その際は、連絡先の電話番号等を記載したメモを同封すること。

請 求 先

〒852-8521 長崎市文教町 1 番 14 号

長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）

ディプロマ・ポリシー
カリキュラム・ポリシー
教員・研究内容一覧

ディプロマ・ポリシー

3年以上在学して[1]所定の教育プログラムに定められた単位（15単位以上）を取得し、

- ・システム工学（機械システム，社会基盤システム），電気情報工学，物質工学，国際水環境科学の各専門分野のいずれかにおいて，高度な専門的・学際的知識，専門実践能力，創造的研究の推進能力，問題解決能力を身につけている。
- ・次世代の革新的科学技術の推進に貢献する強い意志を持っている。
- ・高度専門技術者・研究者としての高い倫理観と安全意識を持っている。
- ・グローバルに活躍できるコミュニケーション能力，指導力を持っている。

と認められ，博士論文が学位審査基準[2]を満たした者に対し，博士（工学）の学位を授与する。

[1]：優れた業績を上げたものについては，1年以上在学すれば足りるものとする。

[2]：工学に関連する内容で，新規性，創造性，普遍性，論証性などの高い学術的価値を有していること。また，博士論文の適合性として，提出された論文に，審査制度の確立された学術雑誌に掲載または掲載が決定された原著論文が2編以上含まれていること（ただし，博士後期課程入学後に投稿された原著論文を1編以上含むことを要し，審査制度の確立された学術雑誌に掲載の可否を審査中である原著論文を1編含むことができる）。

カリキュラム・ポリシー

- ・システム工学（機械システム，社会基盤システム），電気情報工学，物質工学，国際水環境科学の各分野を融合した教育カリキュラムにしたがって，幅広い知識，課題探求能力，問題解決能力を修得します。
- ・共通科目である「総合科目」では，当該学生の副指導教員が担当する「生産システム工学特別演習」と，異なる専門領域の教員が連携して行う「生産システム工学特別研究」を必修科目として学び，総合力・応用力を養います。学修の到達度は，科目の内容に応じ，レポート，口頭試問，筆記試験，発表，討論を通じて評価します。
- ・「生産システム工学特別講義」においては，企業からの講師を含む複数の教員による産学連携の講義をおこない，工学の全体像を把握します。学修の到達度は，レポート，発表，討論を通じて評価します。
- ・コースごとの専門領域を対象とする4つの科目群「システム工学コース科目」「電気情報工学コース科目」「物質工学コース科目」「国際水環境科学コース科目」においては，専門領域の高度な知識を修得します。学修の到達度は，科目の内容に応じ，レポート，口頭試問，筆記試験，発表，討論を通じて評価します。

科目に関する別表（生産システム工学専攻）

| 科目等 資質等 | | 総合科目 | コース科目 | | | |
|------------|-----------|---|---|--|--|---|
| | | | システム工学コース | 電気情報工学コース | 物質工学コース | 国際水環境科学コース |
| 主として養われる資質 | 総合力・応用力 | 生産システム工学特別演習 生産システム工学特別研究 工場実習 研究英語コミュニケーション講座 | | | | |
| | 工学の全体像の把握 | 生産システム工学特別講義 | | | | |
| | 専門知識・技術 | スーパーコンピューターション特論 | ロボティクス特論 人間機械システム工学特論 応用材料強度学□ 破壊解析学 トライボ損傷評価学 伝動システム学 超精密加工・計測学特論 省エネルギーシステム学 熱流体光計測学 熱物質移動特論 流体音響学 熱物質変換基礎学 多成分系熱力学特論 応用材料強度学 I 構造物解析学特論 維持管理システム学特論 複合構造学特論 持続的居住計画論 不安定振動学特論 建築環境計画論 コンクリート材料学特論 空力弾性学特論 社会基盤計画特論 地圏環境工学 地盤解析工学特論 地盤防災工学特論 鋼構造維持管理学 土木遠隔計測学 構造振動学特論 環境水理学特論 水環境制御特論 環境マネジメントシステム論 環境設計学特論 | 光エレクトロニクス特論 電磁界解析特論 応用アンテナ工学特論 応用電磁波工学特論 パワー電子回路特論 エネルギーエレクトロニクス特論 非線形回路・システム特論 プラズマ機能科学特論 マグネティクス特論 マグネティクス応用特論 電気駆動システム設計特論 電力変換システム制御特論 電磁エネルギー放射・伝送特論 電気エネルギーシステム特論 電気-機械エネルギー変換特論 アナログ集積回路特論 情報処理システム特論 マルチメディア応用特論 ソフトウェア科学特論 再構成可能システム特論 画像応用システム特論 情報ネットワーク学特論 通信応用代数学特論 応用画像工学特論 映像情報処理特論 データマイニング応用特論 | 機能材料科学特論 界面物性学特論 セラミックス物性化学 高次構造材料学特論 金属物理学特論 無機複合物性学 材料組織物性学 固体物理学特論 ナノ無機材料学特論 生物分子機能学 生体機能物質化学 天然物合成化学特論 物質変換触媒化学 応用錯体化学特論 無機変換化学特論 先端分光計測特論 生体機能構造論 分子組織科学特論 界面機能科学特論 先端高分子科学特論 界面構造化学特論 量子計算設計学特論 先端構造分析化学特論 | 高度膜分離技術論 環境プロセス工学特論 国際水処理工学特論 国際機関共同研究 水再生技術特論 水処理整備計画特論 水質モニタリング演習 |

教員・研究内容一覧

| コース | 教員名 | 職名 | 研究内容 |
|-----------|--------|---|---|
| システム工学コース | 大嶺 聖 | 教授 | 地盤の高度利用技術と地盤環境工学に関する研究 |
| | 坂口 大作 | 教授 | 遠心型ターボ機械における不安定流動の解明と抑制法の開発 |
| | 蔣 宇静 | 教授 | 地下発電所・トンネルなど岩盤構造物の健全性評価と合理的設計 |
| | 中原 浩之 | 教授 | 建築構造物の耐震設計と耐震補強 |
| | 中村 聖三 | 教授 | 鋼構造物の耐震設計法の合理化・高度化 |
| | 林 秀千人 | 教授 | 三次元非定常流れの組織構造の解明 |
| | 松田 浩 | 教授 | インフラ構造物の変状調査とモニタリングのための遠隔測定法の開発と評価法に関する研究 |
| | 桃木 悟 | 教授 | 冷媒の管内沸騰・蒸発熱伝達 |
| | 安武 敦子 | 教授 | 住環境のデザインおよびマネジメント手法に関する研究 |
| | 山本 郁夫 | 教授 | 先進的ロボットシステムの研究 |
| | 吉武 裕 | 教授 | 構造物や機械のための制動装置の開発, 自動車の駆動系や電動機等の振動解析 |
| | 奥松 俊博 | 准教授 | 橋梁構造物など社会資本維持管理に対応した計測技術の開発 |
| | 奥村 哲也 | 准教授 | 固体表面近傍における流体挙動に関する研究 |
| | 源城 かほり | 准教授 | 建物の環境性能とバイオフィリックデザインに関する研究 |
| | 小山 敦弘 | 准教授 | 各種工業用材料の疲労特性評価, レーザー誘起超音波顕微システムの開発 |
| | 佐々木 謙二 | 准教授 | コンクリート構造物の高品質化・生産性向上に向けた材料・施工性能評価手法の高度化に関する研究 |
| | 杉本 知史 | 准教授 | 地盤構造物に関わる各種モニタリングと分析・力学的評価手法の開発 |
| | 鈴木 誠二 | 准教授 | 生態系を含めた水域の物質循環特性の解明および水環境管理保全手法の開発 |
| | 瀬戸 心太 | 准教授 | 人工衛星を用いた降水観測, 防災への応用 |
| | 高瀬 徹 | 准教授 | 構造用材料の疲労特性に関する研究 |
| | 田中 良幸 | 准教授 | 生体運動制御メカニズムに基づく人間機械系に関する研究 |
| | 永井 弘人 | 准教授 | 航空宇宙機の柔軟構造システムの開発およびその複合領域解析 |
| | 西川 貴文 | 准教授 | 社会基盤構造物のセンシング・モニタリング技術の高度化 |
| 山口 浩平 | 准教授 | 高品質なインフラ構造物の維持修繕技術の開発とその社会実装に向けた診断技術の開発に関する研究 | |
| 山口 朝彦 | 准教授 | 流体の熱物性値測定と熱物性予測式の開発 | |

| コース | 教員名 | 職名 | 研究内容 |
|-----------|--------|------------------|------------------------------------|
| 電気情報工学コース | 阿部 貴志 | 教授 | 電力変換及び電動機制御システムの開発 |
| | 榎波 康文 | 教授 | 超高速光通信用光デバイスや光導波路型光ファイバセンサネットワーク研究 |
| | 喜安 千弥 | 教授 | パターン情報処理・パターン認識に関する研究 |
| | 小林 透 | 教授 | IoT と AI を融合した知能ロボットの研究 |
| | 柴田 裕一郎 | 教授 | 再構成可能アーキテクチャ・並列処理アーキテクチャに関する研究 |
| | 田中 俊幸 | 教授 | 電磁波を利用した非侵襲（非破壊）診断法に関する研究 |
| | 全 炳徳 | 教授 | 写真測量・リモートセンシング |
| | 松永 昭一 | 教授 | 音情報処理に関する研究 |
| | 石塚 洋一 | 准教授 | パワー電子回路およびアナログ集積回路に関する研究 |
| | 一藤 裕 | 准教授 | ビッグデータ駆動の政策・意思決定支援に関する研究 |
| | 伊藤 宗平 | 准教授 | ソフトウェア工学・形式手法・プロセスマイニング |
| | 酒井 智弥 | 准教授 | パターン認識と機械学習のための数理モデリングと最適化に関する研究 |
| | 鈴木 郁美 | 准教授 | 大規模高次元データ解析・テキストマイニング |
| | 瀬戸崎 典夫 | 准教授 | バーチャルリアリティに関するコンテンツ開発と評価 |
| | 原澤 隆一 | 准教授 | 計算代数学と暗号理論に関する研究 |
| | 藤島 友之 | 准教授 | 電磁エネルギーの放電応用に関する研究 |
| | 藤村 誠 | 准教授 | 画像処理に関する研究 |
| | 藤本 孝文 | 准教授 | 高機能アンテナに関する研究 |
| | 松田 良信 | 准教授 | 産業応用プラズマの生成と診断・計測に関する研究 |
| | 丸田 英徳 | 准教授 | デジタル信号処理にもとづく電源回路に関する研究 |
| | 森山 敏文 | 准教授 | 電磁波順/逆散乱問題とマイクロ波リモートセンシングの研究 |
| 柳井 武志 | 准教授 | 磁性膜開発と応用 | |
| 横井 裕一 | 准教授 | 電気機器の開発と非線形動力学応用 | |

| コース | 教員名 | 職名 | 研究内容 |
|------------|--------|--------------------|------------------------------|
| 物質工学コース | 馬越 啓介 | 教授 | 光機能性錯体の開発と応用 |
| | 重光 保博 | 教授 | 量子化学理論および計算手法の開発 |
| | 田邊 秀二 | 教授 | 超音波を用いたナノ粒子触媒調製 |
| | 畠山 智充 | 教授 | 生理活性糖結合性タンパク質の構造機能解析 |
| | 瓜田 幸幾 | 准教授 | ナノ空間の特異現象解明 |
| | 海野 英昭 | 准教授 | タンパク質の構造機能解析 |
| | 小野寺 玄 | 准教授 | 遷移金属錯体を用いた触媒的有機合成反応の開発 |
| | 鎌田 海 | 准教授 | 無機-バイオ複合材料の合成と協奏機能 |
| | 近藤 慎一郎 | 准教授 | 金属表面での荷電粒子励起の理論研究 |
| | 作田 絵里 | 准教授 | 光機能性化合物の創出と応用 |
| | 鄭 国斌 | 准教授 | ナノカーボン材料の合成と構造制御 |
| | 田中 修司 | 准教授 | 酵素の構造機能解析 |
| | 兵頭 健生 | 准教授 | 機能性セラミックス材料の設計と応用 |
| | 村上 裕人 | 准教授 | 機能性エラストマーおよび粘着剤の設計開発と応用 |
| 山田 博俊 | 准教授 | 固体界面における電気化学的現象の解明 | |
| 国際水環境科学コース | 板山 朋聡 | 教授 | 水圏生態系分子生態学と途上国向け生態工学水浄化技術の開発 |
| | 蔣 宇静 | 教授(兼任) | 亀裂性岩盤内の水理物質移行機構 |
| | 田邊 秀二 | 教授(兼任) | 開発途上国で活用できる水浄化システムの研究開発 |
| | 鈴木 誠二 | 准教授(兼任) | 湖沼における高次生態系モデルの開発 |
| | 瀬戸 心太 | 准教授(兼任) | 水文シミュレーションに基づく水資源評価 |
| | 藤岡 貴浩 | 准教授 | 膜ファウリングの研究 |
| | 村上 裕人 | 准教授(兼任) | 機能性高分子膜の開発 |

長崎大学大学院工学研究科における入試成績の開示について

本研究科では、令和3年10月及び令和4年4月入学の入試の成績を、受験者本人からの請求により開示する。

1. 請求期間

| 募集期 | 請求期間 |
|-------------------------------|---------------------------|
| 令和3年10月・令和4年4月 入学・進学（夏期募集） | 令和3年7月14日（水）～令和3年8月3日（火） |
| 令和4年4月 入学・進学（冬期募集） | 令和3年12月16日（木）～令和4年1月5日（水） |

※ 郵送必着

※ 窓口請求は、9:00 から 17:00 まで受け付ける。ただし、以下の日を除く。

- ・土曜日、日曜日、祝日
- ・12月29日（水）～1月3日（月）

2. 請求者

受験者本人に限る。

3. 請求方法

【窓口の場合】

長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）の窓口にて、本研究科受験票を提示のうえ、「入試成績開示請求書」（別紙1）を提出すること。

書類を受理した日から14日以内に窓口で「入試成績表」を交付する。（受け取りの際、本研究科受験票を持参すること。）

【郵送の場合】

次の書類を下記請求先に郵送すること。

書類を受理した日から14日以内に簡易書留郵便で「入試成績表」を送付する。

- ① 入試成績開示請求書（別紙1）
- ② 本研究科受験票（「入試成績表」送付時に返却する。）
- ③ 返信用封筒（長形3号封筒に、郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手404円分を貼ったもの。）

※ 請求先 〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部西地区事務課大学院係（工学研究科）

（TEL：095-819-2491）

4. 開示内容

請求者が受験した科目の総得点を開示する。

(別紙1)
年 月 日

入 試 成 績 開 示 請 求 書

工 学 研 究 科 長 殿

ふりがな
請求者氏名 _____ 印

令和3年10月及び令和4年度入試における成績について、下記のとおり開示を請求します。

| 課程 専攻 | 博士前期課程 総合工学専攻 | 博士後期課程 生産システム工学専攻 | 博士課程（5年一貫制） グリーンシステム創成科学専攻 |
|------------|--|--|---|
| コース | コース | コース | |
| 入試区分 | <p>【令和3年10月入学】</p> <p><input type="checkbox"/>外国人留学生入試（夏期募集）</p> <p><国際水環境工学コース></p> <p><input type="checkbox"/>一般入試（6月期募集）</p> <p><input type="checkbox"/>外国人留学生入試（6月期募集）</p> <p>【令和4年4月入学】</p> <p><input type="checkbox"/>推薦入試</p> <p><input type="checkbox"/>一般入試（夏期募集）</p> <p><input type="checkbox"/>一般入試（冬期募集）</p> <p><input type="checkbox"/>外国人留学生入試（冬期募集）</p> | <p>【令和3年10月入学・進学】</p> <p><input type="checkbox"/>一般入試</p> <p><input type="checkbox"/>社会人入試</p> <p><input type="checkbox"/>外国人留学生入試</p> <p><input type="checkbox"/>進学者選考</p> <p>【令和4年4月入学・進学】</p> <p><input type="checkbox"/>一般入試</p> <p><input type="checkbox"/>社会人入試</p> <p><input type="checkbox"/>外国人留学生入試</p> <p><input type="checkbox"/>進学者選考</p> | <p><input type="checkbox"/>推薦入試</p> <p><input type="checkbox"/>一般入試</p> <p><input type="checkbox"/>外国人留学生入試</p> |
| 受験番号 | | | |
| 請求者 連絡先 | 〒 _____ (TEL) _____ | | |

※「入試区分」の該当する□欄に✓をしてください。